

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 子育て家庭を支える保育の現状と課題、将来の方針</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 本市では待機児童の解消を目指しているが、保育士の確保が大きな課題となっている。保育士不足は園児の受入れや質の確保、保育士の職場環境にも関わり保育を必要とする家庭への影響は大きく保育士確保は急務である。また今後は少子化の進行と環境変化を踏まえつつ、将来にわたり多様な保育ニーズに対応していくための取り組みも必要となると考えることから持続可能な保育行政の実現に向けて、現状と課題、将来への方針について伺う。</p>	<p>(1)保育需要の現状と将来予測</p> <p>(2)通園の保護者負担</p>	<p>① 本市の0歳から5歳、認定1号から3号までの今後の教育・保育需要予測を伺う。</p> <p>② 本市の待機児童数のピークは2019年度の61名。2025年度当初には2名まで減少しているが、特定の園を希望するなどにより入園できなかった「隠れ待機児童」として県に報告された方々は42名であった。この待機児童数をどのように分析しているか伺う。</p> <p>③ 本市には公立保育園をはじめ認可を受けている保育所が、29か所あるが、保育需要の偏りはどのようなか伺う。</p> <p>① 保育ニーズの高い地域では、自宅や勤務先から遠い園に通わざるを得ない保護者も存在し、この場合、毎日の送迎は大きな負担になると予想される。またこのような状況は特定の園への申し込みにも繋がり、隠れ待機児童になりやすいと考える。毎日の登園の負担軽減や保育施設の配置など、対策についてどのような検討が行われてきたか伺う。</p> <p>② 保護者から「兄弟で同じ園の入園がかなわず、毎日の送り迎えが大変」との声もある。兄弟で同じ園や近い園で通わせたいと希望する保護者が多い一方で、空きがないために別々の園になってしまうケースもある。そこで、例えば待機場所(送迎保育ステーション)を設け、園児を保育園へ送迎する仕組みがあれば、保護者の負担軽減や保育ニーズの偏りにも有効と考えるが、このような取り組みについて、どのような見解か伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3)認定こども園について</p> <p>(4)保育士確保について</p>	<p>① 本市の「第二次瀬戸市子ども総合計画」には「認定こども園のニーズも少なからずあることから、幼稚園や保育園の認定こども園への移行を支援する」とあるが、方針の背景と整備により本市にとって、どのような期待ができるか伺う。</p> <p>②本市の子ども総合計画の保育の提供体制の確保方策には令和 9 年度から認定こども園が含まれている。具体的な計画があるように読み取れるが、どのような状態にあるのか伺う。</p> <p>①本市はこれまで保育所の新設などに取り組みながら、定員数を増やしてきたものの、保育士不足を理由として保育ニーズに応えきれていない状況である。しかしながら全国的な保育士不足の中でも、待機児童を解消している自治体はある。他市と比較して本市の公立・民営ともに保育士不足の要因をどのように考えているか伺う。</p> <p>② 現在、保育士確保の支援策として宿舎借り上げ支援事業は行われているが、他の自治体では奨学金返済支援等もある。独自の具体的支援策を導入し他市との差別化を図ることで、保育士確保につながるのではと考えるが、どのような見解か伺う。</p> <p>③資格を持ちながらも現場を離れている潜在保育士の活用は大きな可能性がある。潜在保育士の復職支援策について本市の現状と、今後の方針について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

11 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5)少子化を見据えた今後の保育政策の方向性	<p>④ 国はこれまでも民間保育所に支払う運営費の人件費部分について公定価格の引き上げを行っているが、必ずしも給与に反映されているとは限らず、賃金の低さが依然課題となっている。そうした中、国は保育所などの経営状況の見える化を進めている。これにより処遇改善等が進むことも期待されるが、こうした見える化が、本市の保育にどのように影響すると考えているか伺う。</p> <p>①他の自治体では、待機児等対策のため保育所数を増やしたものの、少子化の中、定員割れが生じる現象が見られる。国の資料からも保育所の施設転用や配置の見直し、量から質への転換が見られる。本市においては、短期的には待機児童解消など子育て環境の整備が重要だが、中長期的にはこうした状況も見据え、効率的な経営等を視野にどのように保育政策を進めていくか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。